

神奈川青音会



大本山光明寺法主柴田哲彦台下御染筆



23期会長挨拶	2
柴田台下・横井教区長挨拶	3
22期会長退任挨拶	4
23期役員紹介	6
各組会長紹介	8
事業報告・新入、出向者紹介	10
卒業会員挨拶	11
平成28年度事業計画	12

第23期テーマ

いっしょじょうそう

「一処定想」

～変わらぬ為に変えること～

第21代会長 小俣 慶樹

「一処定想」

（変わらぬ為に変えること）

第二十三期浄土宗神奈川教区青年会

第二十一代会長 小俣慶樹



この度、第二十三期浄土宗神奈川教区青年会会長に就任致しました小田原組西念寺、小俣慶樹と申します。浄土宗神奈川教区青年会（略称・神淨青）が創立四十周年を迎えてから早三年。神淨青御歴代会長諸上人並びにO.B.会員諸上人が築いてこられた足跡をしつかりと後世に伝えるべく、邁進していく所存です。二年間どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

私が神淨青に入会し、そして多くの諸先輩やその時の仲間と共に活動したことを想起しますと、その月日の早さを感じます。神淨青活動の一連を大局的に見た時、一つの組織を存続させる為には、同じことをやり続けることの他に、その時代に即した対応や変化が必要である様に思います。しかしそれは、理念から逸脱していないことを何よりの前提とします。

神淨青が理念として掲げている「自行・化他・和合」、ご周知の通り、大本山光明寺第百十三世法王柴田哲彦大僧正台下が神淨青第二代会長の時に掲げられたものでございます。この理念の捉え方が、組織の歩みを大きく左右するものと思つております。これか

ら神淨青が、四十五周年、五十周年と歴史を刻んでいく中で、盤石なものとして存続していく為には、理念の捉え方を今一度聞いただす時であると考へておられます。釈尊が阿難に付属したのは念佛の一行のみであり、その選択本願念佛を縁ある方々にどれだけお伝えできているか、自身で称えているか、その事に我がどれだけ意を向けているかを常に考え合うことが、この神淨青という脈々と続いている会の存在意義であると思つております。「自行・化他・和合」この理念が、自分の都合上で解釈されていないか。自行である別時念佛会が我慢大会になつていなか、化他である布教が自己満足だけで終わつていなか、和合が飲み会だけで済ませられていないか。柴田台下が提唱されたこの理念を今一度、元祖様のみ教えに照らして考えていくことで、よりこの神淨青という組織が形骸化されず存続するキーポイントになるのではないかと思ひます。

無論、我々は西方極楽浄土、この一つの処に往生を願う想いを定めることが全ての前提となる訳であります。想いがしつかりと定まる故に、神淨青理念の本来の意味が分かるものと思つております。よつて、本期活動テーマを「一処定想～変わらぬ為に変えること～」とし、搖るぎなく一つの処、西方極楽浄土に想いを定める願往生心の構築を目的としました。また副題を「～変わらぬ為に変えること～」とし、願往生心を搖るぎなく抱き続ける為には、常に同じ角度から見続ける一辺倒ではなく、様々な角度から機に即したアプローチをすることが必要と考え、「変えること」と題しました。また、神淨青組織を変わらずに存続する為には、会の運営もその時代に応じて変えていくことが必要であります。現在の問題は、会員数の減少であります。そこに付随する会費収入の減少も大きな問題となつております。したがつて、理念から逸脱しないことを何よりの前提とする中、その対策の一つとして、『ねんぶつ日記』と題した念佛相続を促使冊子を作製販売し、その浄財を活動運営費に充當致します。しかし、あくまでこの『ねんぶつ日記』は、念佛相続並びに結縁を中心としており、利益重視が目的ではないことを申し添えます。次に、現在各組がそれぞれ組内にて企画する研修が充実しております。組内だけで終始させるのではなく、神淨青会員の中で共に学び合いたいという思いから、別時念佛をすることを必須にそれに併修する形で、担当する組が企画する研修とこのお別時とを組み合わせた各組担当別時念佛会を始めます。また次に、年三回、正会員はもとより卒業会員も対象とした「定想会」なる勉強会を開催いたします。第一回は想いを定める為に、優れた内容で構成されている五重相伝を学びます。第二回では、今年度に東日本大震災七回忌を迎えるにあたり、宮城を訪れ慰靈法要を行います。また第三回はその現実の人々の声を肌で感じた中で、いかに阿弥陀仏の大慈悲がこれほどまでに有難く、この身をお救い下さるのかを踏まえ、より一層の願往生心の構築を学ぶ勉強会とします。また、和合・化他の一環としては創立四十周年を期に開かれた「てらつど」の開催、また十一月二十八日には、関東ブロックスポーツ交流大会の主管を神淨青が担う良縁に恵まれ、横浜にて開催をする計画を進めております。そして次年度は、他宗団見学や海外研修も視野に入れておりま

す。

結びに、より一層青年会活動が存続する為に、今後とも淨青活動に際しご理解ご協力を賜りますよう、また新入会員のお声掛けを下さいますよう、伏してお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。二年間、どうぞ宜しくお願ひ致します。



照顧脚下

—時は今、所足下もと—

大本山光明寺法主 柴田哲彦 台下

開宗八〇〇年の佳辰、昭和四十九年を目前にした頃、全国で浄土宗青年会発会が相次ぎ、一宗全体が異様なまで盛り上がりを見せていた時代があつた。

神奈川教区にも、浄土宗青年会が発会し、初代会長に平野仁司師が就任され、活発な淨青活動が開始された。神奈川教区にも、浄土宗青年会が発会し、初代会長に平野仁司師が就任され、活発な淨青活動が開始された。

会長を中心とした役員、会員諸師による必死の努力が、今日の充実した神淨青を育んだ要因だとも云えよう。

その後、昭和五十二年小衲が二代目会長を引き受けることとなつた。三年後には高祖善導大師の一三五〇年遠忌を迎える頃で、宗門は『開八』に引き続いての大行事を目撃の間にして、これまた高揚感に満ち溢れていた時代であった。

往時の資料『淨青神奈川』第三号を繙くと、活動の一環として『教化ポスター』なるものを作成し教区内寺院に配布していた記事がみられる。

履物を揃えて心爽やかに

—照顧脚下—

先ずは第一歩を踏み出そう、真摯で爽やかな活動を。そして更なる充実・発展を念じ擋筆いたします。

と記したB4半截版で、会員にして中村素堂門下の三浦正英師による揮毫で大変好評を博した一品であつた。

「照顧脚下」とは元々禪語で、「汝はどこに立つて、足下をよく気をつけて見よ」という意と云われる。(柴山全慶『禪林句集』)

しかし、増上寺八十三世、椎尾弁匡大僧正は

まず足元の一步からやり出さねばならない。切り開きは、まず照顧脚下だ。

と記し、先ず脚下の一步を進めることと解されている。(『椎尾弁匡集』卷七
·531)

大僧正の御歌に

時は今 所足下もとそのことに

うちこむいのち とわのみいのち

の一首がある。(『同選集』月報4·3)淨青活動の基本は宗祖開立の本願称名念佛の実践であり、開けば、自行・化他・和合を正しく眞面目に実行してゆくことである。

先ずは第一歩を踏み出そう、真摯で

爽やかな活動を。そして更なる充実・



『青年僧に期待する』

神奈川教区教区長 横井隆彦 上人

「平成二十八年熊本地震」という強

い地震が発生し甚大な被害がもたら

されました。お亡くなりになられた

方々にお悔やみ申し上げ、被災された

皆様にお見舞い申し上げます。一日も

早い復興を祈念いたします。

淨青会員の皆様には、日頃の様々な

教区事業にご尽力を頂いております

こと有難く厚く御礼申し上げます。

最近淨青というと「てらつど」とす

ぐに思い至ります。柔軟な発想と持ち

前の行動力での事業展開とみています。

個々の寺院では、檀信徒に限定する行

事が、主となります。広く不特定多数

の懺悔偈と十念がありますが、意識

を明確にもつての行動が必要ではない

前での行動力での事業展開とみています。

でしようか。今日、全国で二宗に限らず

寺院に関する紛争が多発しています。

宗教者としての姿勢は、社会から常に

呼びかけるという姿勢に爽快さを

感じます。材木座の光明寺という絶好

の「場」の雰囲気が作用していると思い

ます。知らず知らずのうちにゆとりの

正しくお念仏を相続しているからこそ

ある企画力が醸成されているのではないか

でしょうか。

さて、会員諸師の淨青活動を離れた

います。

淨青会員皆様のご活躍を期待して

会長退任挨拶

第二十二期浄土宗神奈川教区青年会
第二十代会長 伊藤 知道



きたつもりであります。諸先輩方にも大変、お世話になりました。二年前に歴代会長の先輩方に教えられた「プライドを持つてやれ。常に笑顔でいろ。仲良くやれ」と言われた言葉は、常に意識をしながら活動して参りました。

第二十二期浄土宗神奈川教区青年会会长を務めさせて頂きました、港南組専念寺 伊藤知道です。在任中は神奈川教区御寺院・関係諸団体・神淨青会員の皆様には、大変お世話になりました。皆様の御支援・御協力・御厚情に篤く御礼申し上げます。

第二十二期神淨青では、テーマに「深諦善念」を掲げ、二年間活動して参りました。私の勝手な解釈として「自分の現状をしっかりと把握し、持てる知恵を出し尽くして、浄土宗青年僧侶として今、何ができるかを考え行動する」と意味づけをいたしました。この様に活動できたかは反省するところですが、私なりに危機感を持つて付けたテーマでもあります。「中途半端な事では、今の時代は誤魔化しが効かない。情報多過の昨今、誰が何處で視ているか分からぬ。本物であり、誠実さが求められる時代」だと私なりに認識し、行つて

第二十二期神淨青の始まりは、訃報からの始まりでした。現役会員である京浜組大徳寺村上誠司上人がご遷化され、続いて現・大本山光明寺法主宮林昭彦大僧正台下がご遷化となりました。しかし、その後に大本山光明寺法主柴田哲彦大僧正台下が御晋山されました。柴田台下は当会第二代会長であります。神淨青にも宮林台下本葬・柴田台下晋山式手伝いの要請があり、会員一同全力で事に当たりました。滅多にない経験であり、大変な勉強をさせて頂きました。

事業としましては、年二回の他宗団見学と年一回の「てらつど」を計画・開催しました。他宗団見学は、毎回三十名を超える参加者を頂き、鎌倉五山・江島神社・東京ジャーミィ（イスラム教モスク）・築地本願寺を見学・勉強させて頂きました。特に東京ジャーミィはカルチャーショックでして、昨今の世界情勢を考えるうえでとても良い経験をさせてもらいました。

一期二年、過ぎてしまえばあつという間でした。やり残した事が無いと言えば、嘘になりますが、私なりに精一杯務めたと思っております。そんな二年間で私が感じたのは、「助け合い」と「認め合い」でした。会員一人一人がこの二つの気持ちを持って活動しているからこそ、神淨青は成り立っているのではないかと思います。これからは、大変な時代になると言いますが、私はそこまで悲観はしていません。なぜなら、これから時代を造る若い会員の皆様が、古い我々が考えつかない素晴らしい、そして大胆な方法で神淨青を導いて行つてくれる信じているからです。期待しています。

最後に、浄土宗神奈川教区青年会の益々の御発展と会員皆様の御健勝を祈念申し上げます。二年間誠にありがとうございました。

「第三回・四回他宗団見学」

第二十二期 事務局長 石川 仁恵

神淨青第二十二期事業として他宗団見学を行ないました。

第三回他宗団見学は、平成二十七年六月十九日に江島神社へ参拝いたしました。

大本山光明寺からも近いところにありながら、なかなか参拝することや神道に触れる機会も少ないので、宮司様からのお話はとても興味深く、今までの歴史を知ることができました。また、自身では初めて、きちんととしたご祈祷の作法を拝見させて頂き、とても勉強になりました。ご好意により、江の島弁才天信仰の発祥の地である岩屋もご案内頂きました。

第四回他宗団見学は、平成二十八年二月十八日に東京ジャーミイ・トルコ文化センターと築地本願寺へ参拝いたしました。江島会員のご好意により、普段はなかなか



行くことができないイスラム教のモスクであり東京ジャーミイは、東アジアで最も美しいモスクと呼び声があり、トルコから送られた資材で仕上げられた礼拝堂をご案内頂きました。また、イスラム教やトルコ文化を丁寧にご説明頂き、普段触れることが無い異教、異文化に、とても刺激を受けることができました。築地本願寺では、重要な文化財である西洋文化やキリスト教の建築を思わせる本堂に、おもわず息を飲んでしまうほど圧巻でした。また、江戸時代に建立されてからの歴史や築地との関係をご説明頂き、改めて歴史と文化を学ぶ機会を頂きました。

二回の研修会とともに、多くの学びと発見をすることができ、また会員相互の懇親も深られ、大変有意義なものとなりました。

浄土宗神奈川教区青年会 平成27年度 事業報告

月	日	内 容	場 所
4月	13日(月) 24日(金)	第1回理事会 定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺 大本山光明寺
5月	19日(火) 21日(木)	第2回理事会 三大本山・関プロ浄青別時念佛会	大本山光明寺 大本山増上寺
6月	19日(金) 24日(水)	第3回 他宗団見学 ※第42回関プロ浄青総会 並 研修会 担当:茨城教区	江島神社 オーフラフロンティアホテルつくば
7月	1日(水) 1日(水) 1日(水)	機関紙『浄青神奈川』第41号発行 大本山光明寺開山忌前清掃奉仕 第3回理事会	浄土宗神奈川教区青年会 大本山光明寺 大本山光明寺
9月	29日(水)~31日(金) 2日(水)~3日(木) 8日(火)	※関東教化センター第68回夏期僧堂手伝い ※全净第11回全国大会 担当:山口教区 第4回理事会	大本山光明寺 湯田温泉ホテルニュータナカ 大本山光明寺
10月	1日(木) 14日(水) 30日(金)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕 十夜托鉢 三大本山・関プロ浄青別時念佛会	大本山光明寺 大本山光明寺 善光寺大本願
11月	11日(水)	※関プロスポーツ交流大会 担当:群馬教区	ももの木川グラウンド
12月	3日(木)	第6回理事会・臨時総会・忘年会	横浜華正楼
1月	22日(金)	第7回理事会・御忌別時念佛会	大本山光明寺
2月	5日(金) 8日(月)~9日(月) 18日(木)	神奈川教区長杯スポーツ大会 担当:港北組 ※全净第41回 総合研修会 第4回 他宗団見学	とどろきアリーナ 大正大学 東京ジャーミイ・築地本願寺
3月	4日(金) 26日(土)	第8回理事会 「寺集～てらつど～」	大本山光明寺 大本山光明寺

青 役 員 紹 介



副
会
長
伊
香
輪
一
曉

この度神淨青第23期小保会長のもと、副会長を務めさせていただきます鎌倉組 正光寺 伊香輪一曉です。私のような人間に副会長という大役が務まるか不安もありますが、三浦副会長と共に会長を支え、自行・化他・和合の理念のもと精一杯務めていきたいと思っております。また年々会員が減少していく中で、若い会員にも多く参加してもらえるよう、会員との潤滑油的な役割になり、事業が円滑に進むよう努力していく所存です。

さて神淨青では今期のテーマ「一処定想～変わらぬ為に変えること～」のもとさまざまな事業を展開してまいります。また本年11月には神奈川淨青担当で関東ブロック淨青スポーツ交流大会もございます。より多くの会員にご参加いただけるよう執行部一同鋭意準備していきますので、ご参加、ご協力の程何とぞよろしくお願い申し上げます。

この度、小保会長のもと監事をつとめさせていただく事になりました。

辞書によると監事とは「財産や理事の業務執行の状況を監査する機関」ということでとても身が引きしまる思いです。

会長の掲げるテーマ

一処定想～変わらぬ為に変えること～

このテーマのもと会員の皆様方としっかり目的意識を合わ

せ、研鑽、資質向上を目指し、また会員相互の交流を深めながら神奈川淨青をつくりあげていきましょう!!

私自身、淨青最後の2年間になってしまいました。この2年間皆さんと淨青を楽しんで活動していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

監
事
佐
々
木
元
洋



会
計
鈴
木
崇
仁

このたび神淨青の2号会計（特別事業会用・緊急災害用）の任を仰せつかりました、高座組淨土院の鈴木崇仁です。神淨青の執行部への参加は今回が初めてですので、わからぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることが多々あるかとは思いますが、小保会長のもと一生懸命務めさせていただく所存です。

本年は関ブロスポーツ交流大会が神奈川で行われるため大きな支出があります。それを除けば2号会計はその内容上、仕事が少ないと、つまり支出が少ないことが世の中太平であるということの現れなのかとは思いますが、災害等急を要するときには迅速に対応できるよう心がけていきますので、これから1期2年間、よろしくお願ひします。

この度、第23期浄土宗神奈川教区青年会 相談役を拝命しました、港南組専念寺 伊藤知道です。前期会長からの相談役ということで、出しゃばらず、暖かく23期を見守っていかなければと思っています。小保会長には、前期副会長として、御尽力を頂きましたので、その恩返しも含め、支えていきます。テーマ「一処定想～変わらぬ為に変えること～」の下、我々にとって変えられないモノを守り、繋げていく為に伝え方・やり

方・接し方を考え、変えていかなくてはならない時期に來ているのかなと思います。その為には、神淨青会員全員が、一つのテーマの下に真剣に取り組むことが大事な事と推察します。会員の皆様に於かれましては、第23期神淨青に対し御理解と御協力をお願ひしまして、相談役挨拶とさせて頂きます。2年間、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

相
談
伊
藤
知
道



編
集
委
員
長
三
浦
正
順

第23期小保会長のもと編集委員長の任をお受けさせていただきました三浦組 光照寺の三浦正順です。歴代の編集委員長に比べ経験が不足で十分に務まるかは分かりませんが、これまでの淨青活動の経験を活かし、また多くの皆様のご助言を頂きながら精進してまいります。

今期小保会長が推し進める事業の中で『ねんぶつ日記』の制作があります。この事業を通してできるだけ多くの方に念仏を相続していただきたいと思っています。そして、今まで通り機

関紙『淨青神奈川』の内容充実と昨年一新を致しましたホームページを初めとするtwitter、Facebookを利用することにより多くの方々に広く神淨青の活動を知って頂けるような広報活動してまいります。今期編集委員会は港北組 大橋雄人会員・高座組 坂本慎成会員・高座組 伊藤泰毅会員・鎌倉組 鳥居淳生会員・三浦組 杉浦尋徳会員の力を借りながら計6名で楽しく活動したいと思っています。2年間どうぞよろしくお願ひいたします。



編
集
委
員



土川 憲弥

坂本 慎成

大橋 雄人

伊藤 泰毅

鳥居 淳生

杉浦 尋徳

第 23 期 神淨

この度、小俣慶樹会長のもと第 23 期神淨青の副会長を務めさせて頂くことになりました高座組 西光寺 三浦康志です。

今期、小俣会長が掲げた活動テーマ「一処定想～変わらぬ為に変えること～」を常に念頭におきながら、自行・化他・和合の神淨青理念のもと、活動して参ります。自分一人ではなかなかできないことも、挫折しそうになった時も、同じ目的を持った仲間と一緒に乗り越えることができます。淨青活動を通して、会員皆で研鑽を積み、社会教化に励むことで友情が

芽生えたならば、この神淨青の目的にも適いますし、青年僧として、今しかできないことをすることが自分のためにもなり、将来の財産になると思っております。一人でも多くの方に、一つでも多くの事業にご参加頂き、共に成長してゆきたいと念じております。

1期 2年、伊香輪副会長と共に小俣会長をお支えし、多くの会員の皆様と共に、より良い神淨青の活動ができるよう務める所存です。2年間よろしくお願ひいたします。

副会長
三浦
康志



監事
香川
陽祐

この度、第 23 期神淨青監事に選出されました香川陽祐と申します。一期 2 年間ではありますが佐々木監事・両副会長と共に小俣会長を支え、各事業の円滑な遂行の為に尽力して参りますので、よろしくお願ひいたします。

さて、今期の神淨青の会員数を見ますと、総勢 94 名と遂に 100 名を切る会員数となり、右肩下がりに減少しているのが昨今の状況です。今後も予算・事業の参加人数の減少など大変厳しい会の運営が予想され、ますます会員各々の参加と

行動と自覚が「会」を成してゆくにあたり重要なこととなります。今期も自行・化他・和合に則った各事業がありますが、まずは「参加」をし、そこで感じた賛同や批判を「行動」として執行部に伝えて下さい。そして各事業で得たものを僧としての「自覚」をもってご自坊で存分に反映していただけることを目指して、会員の皆様はもとより、時には OB 諸大徳のお力を借りしながらより良い会の運営の一助となるよう取り組んで参ります。

神淨青第 23 期会計を務めさせていただきます小田原組 城前寺 皆川演亮です。

小俣会長並びに大場事務局長とは同組の先輩としてご指導いただきながら、共に淨青活動をしてまいりました。

この度、第 21 代神淨青会長ご就任にあたり小俣会長よりお声をかけていただき、会計というお役目を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。

私自身も、淨青会員でいられる年数も段々と少なくなってきた中で、今期は「一処定想～変わらぬ為に変えること～」に

沿った淨青活動を通じて、一会员としても皆さまと共に研鑽を積み、事業に参加できる感謝の気持ちを忘れることなく精進してまいりたいと思います。

至らぬ点も多々あることと存じますが、鈴木会計と協力し 2 年間の会計職責を果たせる様、努力してまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願ひいたします。

会計
皆川
演亮



書記
大橋
雄人

このたび、小俣慶樹会長のもと、第 23 期神淨青の書記を務めることになりました、港北組大蓮寺の大橋雄人と申します。

また、今期神淨青においては編集委員を兼任、全淨青においては幹事として出向させていただいております。

今回、初めて神淨青の執行部としてお手伝いさせていただくことになり、まだ右も左もわからない状態であります。小俣

会長が掲げた「一処定想～変わらぬ為に変えること～」という

活動テーマの実践に向けて、書記という立場からどのようなお手伝いができるかわかりませんが、微力ながら精進してまいりたいとおもいます。

事務局長
大場
得法



浄土宗神奈川教区青年会第二十三期事務局長を務めさせて戴きます、小田原組円宗寺の大場得法と申します。

今期は竹石光流事務局次長と 6 名の事務局員で事務にあたさせて戴きます。小俣慶樹会長を支え自行・化他・和合を基に、今期のテーマであります「一処定想～変わらぬ為に変えること～」の理念を理解し、今まで築き上げて戴きました神淨青の歴史と伝統を守りながら精進努力して参る所存でござい

ます。年々、会員の人数も減少しておりますが、皆様のご尽力を戴き共に神淨青を盛り立てていけたら幸いに存じます。至らない点も多々あると存じますが、より良い活動ができますように精一杯努めて参ります。一期二年間、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

事務局次長



事務局員



竹石 光流



石井 康順



小川 勉道



戸松 良明



君島 広大

各組紹介



京浜組



会長
大熊 隆史

ました。

今期の活動内容と致しまして、まず「看脚下」をテーマに、会員一人一人の心得を見直し、日頃の法務での疑問点の解消や仏教知識の研鑽を目指し、また「寄り添い」をテーマに、檀信徒の方々におかれましては、皆様方におかれましては、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

また、この春をもってご卒業を迎えるられる諸先輩方々にお祝いを申し上げます。当組も御三氏が門出を迎える事となりました。諸先輩方が守つてこられた御旗を挙げ、一層のご活躍を祈念し、また変わらぬ御高配賜りますようお願い申し上げます。

さで、今期を迎えていただくにあたり、皆様のお許しをいただき、当組会長の大任を賜り

港南組



会長
石川 仁恵

また、研修旅行として南太平洋戦没者慰靈巡拝をグアムにて開催いたします。ご興味のある方はお気軽にご参加頂ければと思います。

本年度は「神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会」を港南組が担当させて頂きます。競技

今期から二年間、港南組淨青会長となりました港南組淨青王寺・石川仁恵です。任期の二年間よろしくお願い致します。

港南組の事業は、前年度から引き続き、大本光明寺御法主柴田哲彦台下からご教授を戴いています『勅修御伝』の勉強会、塩澤智彦先生を始めとして高座淨青と合同開催しております

港南組淨青は神淨青の中でも一番多くお招きして高座淨青と合同開催しております法式研修会、鎌倉淨青と合同開催しております法式研修並びに忘年会を行います。

最後に、港南淨青は神淨青の中でも一番多くお会員をかかえる組となり、本山職員も四名在籍し、本山との繋がりも大きくなりました。神淨青事業や全国、関ブロの事業にも積極的に参加し、研鑽と懇親を深めていきたいと思います。

港北組



会長
安田 雄心

行・化他・和合の理念のもと、お念仏のみ教えを社会に広めるべく一生懸命研鑽に励み、また神淨青の活動をしっかりと盛り立てていきたと思っています。

今期の港北組青年会は、年四回の定例研修会を開催する予定です。講師には小田原組春光院石川琢道上人をお迎えし、「中国浄土教の思想」をテーマに「浄土五祖」について研修を深めます。また、お隣り港南組さまとの親睦会も開催予定です。

この度、港北組青年会会长を務めさせていただきました。今期は小俣慶樹会長のもと執行部の一員として会計を務めさせていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。今期は小俣慶樹会長のもと港北組青年会会长として、非才ながらも神淨青の「翼」を担えれば幸いです。

今期の神淨青活動テーマは「処定想へ変わらぬ為に変えること」ということで、その目的は各々が願往生心を確立することにあると伺っています。我々港北組青年会会长一同も「自由

高座組



会長
三浦 康志

され、新たに今年より贊助会員制度が始まりました。現役会員が一時に比べ、だいぶ少なくなってしまったので、諸先輩方に贊助会員として入会していただき、共に活動させていただきます。

この度、大谷慈通会長の後を受け、高座組青年会の会長を務めさせて頂きます西光寺の三浦康志です。常任理事を副会長の中西謙司会員、理事事を事務局の久富亮弘会員にしていただきます。組の会計の伊藤泰毅会員、組の編集の坂本慎成会員は一人とも神淨青の編集委員をいたしました。また今年で淨青を卒業してしまった大谷慈通会員には、一年延長していただき組の監査をやついただきます。神淨青会計に鈴木崇仁会員、また神淨青監事の香川陽祐会員は全淨青の幹事として出向いたします。本年四月一日の臨時総会で、高座淨青会則の変更が承認

されています。それに伴せて、十月に法式講習会と検定試験が青森で開催されますので、その検定試験に向けて、会員同士で法式作法を再確認し、研鑽していくことがあります。

そしてもちろん神淨青、関ブロ淨青、全淨青の事業にも積極的に皆で参加し、高座組青年会一丸となって邁進してまいります。一年間よろしくお願いいたします。



鎌倉組



会長 稲見 公宏

この度、伊香輪一暁前会長の後任と致しまして、鎌倉組浄青の会長を務めさせて頂くこととなりました覚栄寺の稻見公宏と申します。何かと至らぬ点も多いかと存じますが、どうぞ宜しくお願いいたします。



会長 伊藤 圭祐

鎌倉組浄青は、昨年度をもって法幢寺の菊地正起上人がご卒業となり、今期は十四名で活動しております。ここ数年会員のご卒業もあり、一時期に比べますと大きく人数が減っているのが現状ではあります、力を合わせて精一杯活動してまいりたいと思っております。事業と致しましては、光明寺柴田哲彦台下に

今年度の活動としましては、前年に引き継続き江島会員による勉強会を予定しております。前年は「世界の宗教」という内容で仏教以外の宗教の理解を深める事ができました。今年度は「宗教の衰退と宗教の可能性・僧侶の生き残りをかけて時代とどう向き合すべきか」といった方向での勉強会を予定しております。また法式の基本を見直す勉強会、別時念佛会、会員だけではなくその家庭婦人や家族との親睦を深める家族親睦会、国内研修旅行等を計画しております。

この度、佐々木元洋会長の後任として浄土宗神奈川教区青年会中郡組会長を務めさせていただすことになりました、福蔵院の伊藤圭祐です。昨年度は伊藤知恵会長の元、執行部事務局員として活動して参りました。神浄青会員となり、まだ五年と浄青活動の経験は少ないですが、精一杯務めさせていただきます。

今年度の中郡組青年会は、私と副会長に江島尚俊会員を含む十二名での活動となります。会員が監事として、大松寺、小川勉道会員が事務局員として出向いたします。

ご講義頂きます港南組と合同による経典講読研修会「勅修御伝」を年間十回ほど、同じく港

南組と合同による法式研修会、年末には三浦組と合同による歳末助け合い托鉢、そして親睦をより深めるべく旅行を予定致しております。

また今期、神浄青へ伊香輪 晚会員が副会長として、石井康順会員が事務局員として、鳥居淳生会員が編集委員として出向いたしましたので、鎌倉組浄青と致しましても今まで以上に神浄青の事業に参加し、協力していきたいと思つております。

有難いことに、浄青をご卒業された諸先輩の皆様方も、様々なところで顔を出してくださるのが鎌倉組浄青であります。先輩方、現役会員も含め皆様のお力を借りし、ご指導を頂戴しながら、意義深い浄青活動にすべく一年間尽力してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

三浦組は昨年で清水道善上人が卒業され、本年度は県内八組でもっとも会員数が少ない八名で活動をしていく事になります。平成二十八年度の事業計画といたしましては、引声など高度な法式を勉強する前段として、あやふやになりがちな威儀・健稚・音声等

今期、三浦組青年会会長を務めさせて頂きます松江弘信です。諸先輩や会員諸師のご指導のもと一生懸命務めるつもりです。よろしくお願い致します。

三年間どうぞ宜しくお願い致します。



会長 松江 弘信

三浦組

の初步的な法式を会員一人一人が当たり前にできるようになるところから、まず確認しあつていく法式勉強会を開催致します。また、諸先輩からの長年の継続事業である鎌倉組青年会と合同の年末托鉢(於 鎌倉組高徳院様)、家族親睦会の継続開催を予定しています。そして、三浦組以外の青年会が主催する行事にも積極的に参加し、会員減少を補う道を考えながら、研鑽を深めたいと考えております。

県浄青の事業にも、今期から執行部に三名の信徒への化他に繋げていく為の調誦文回向修会を講師に北郵賢雄上人をお迎えし、ご指導を賜り実施します。小田原組では、各種特別研修会、総代世話人会でも、法然上人をもっと

知る会などの研修会を行つてるので、組の事業にも積極的に参加をし、研鑽を重ね檀信徒との交流も一層深めていきたいと思います。恒例の歳末助け合い托鉢も小田原駅前で行う予定です。

又、今期は、小保慶樹会員が、北郵賢雄上人以来の神浄青会長就任となり、他四名も執行部員となつてるので、小田原組浄青とも、精一杯サポートしていきたいと思っております。

この度、大場得法前会長からバトンを受け、別時念佛・礼拝念佛会を行います。また、檀信徒への化他に繋げていく為の調誦文回向修会を講師に北郵賢雄上人をお迎えし、ご指導を賜り実施します。小田原組では、各種特別研修会、総代世話人会でも、法然上人をもっと

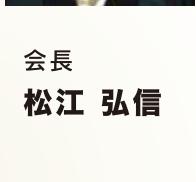
知る会などの研修会を行つてるので、組の事業にも積極的に参加をし、研鑽を重ね檀信徒との交流も一層深めていきたいと思います。恒例の歳末助け合い托鉢も小田原駅前で行う予定です。

又、今期は、小保慶樹会員が、北郵賢雄上人以来の神浄青会長就任となり、他四名も執行部員となつてるので、小田原組浄青とも、精一杯サポートしていきたいと思っております。



会長 阿川 貫淨

小田原組



会長 阿川 貫淨

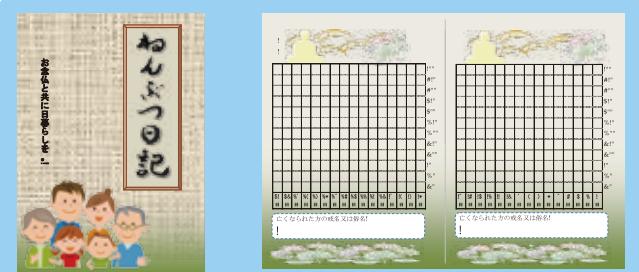
然上人の御教えをしっかりと受け止め、自行として別時念佛・礼拝念佛会を行います。また、檀信徒への化他に繋げていく為の調誦文回向修会を講師に北郵賢雄上人をお迎えし、ご指導を賜り実施します。小田原組では、各種特別研修会、総代世話人会でも、法然上人をもっと知る会などの研修会を行つてるので、組の事業にも積極的に参加をし、研鑽を重ね檀信徒との交流も一層深めていきたいと思います。恒例の歳末助け合い托鉢も小田原駅前で行う予定です。

又、今期は、小保慶樹会員が、北郵賢雄上人以来の神浄青会長就任となり、他四名も執行部員となつてるので、小田原組浄青とも、精一杯サポートしていきたいと思っております。

『ねんぶつ日記』

選択本願念佛相続促進のための冊子『ねんぶつ日記』を作製します。『ねんぶつ日記』はお念佛の回数の記録帳です。もちろん数だけを意識するものではありませんが、お称えした回数が目に見えてることで念佛生活の励みにつながるものであると考えます。各寺院にて配布しやすいものを浄青会員が意見を出し合い、ブラッシュアップしたものを形にします。

1カ月でどれだけ念佛が称えたかを日ごとにマス目を塗りつぶすことで記録することができるようになります。化他はもちろんのこと自行、そしてより良い内容づくりを皆で考えていくため和合にも通じる活動となると考えます。



各組担当別時念佛会

大本山光明寺の阿弥陀様の御前に於いて、各組担当制の別時念佛会を開催致します。担当制にする目的は、お別時を行うことに加え、それぞれ各組にて企画実施されている事業を組だけで学び終えるのではなく、県净青一同共に学び合いたいと願い、その場として各組にお別時と一緒に研修の企画担当をして頂きます。共に学び合うことで一層の念佛相続に繋がっていくものと思っております。



今季の三本柱!

定想会

年に三回、より一層の願往生心構築を目的とし、今期テーマに因み「定想会」なる研修会を開催致します。第一回は「五重相伝を学ぶ」と題し、慶野匡文先生を講師に迎え五重相伝の中の二重と三重を中心にご講義頂きます。第二回は、今年度が東日本大震災七回忌にあたり、宮城の地に於いて慰靈法要を行います。そして第三回は、会員にとって実のある研修を企画しております。また、次年度の定想会では外に目を向けた研修の計画をしております。これら全ての研修の目的は、より一層、西方に想いを定める為であります。

第1回 2016年(平成28年)6月14日

内容：三浦組光雲寺 講師 慶野匡文氏、「五重相伝を学ぶ」

第2回 2016年(平成28年)9月1日

内容：東日本大震災の7回忌を、宮城県に於いて慰靈法要

第3回 2017年(平成29年)2月22日



関東ブロック浄土宗青年会第33回スポーツ交流大会 神奈川大会

日時：平成28年11月28日(月)開催！

関ブロ浄青スポーツ交流大会が本年11月28日に行われます。第33回の今回は神奈川教区の担当でソフトボールを予定しております。会員の皆様に おかれましては、是非奮ってのご協力、ご参加をお願い申し上げます。



卒業会員挨拶



京浜組 正藏寺
専修 大志

僧侶になったのが30代半ば、何もわからず戸惑っていた私にとって、青年会は「自行・化他・和合」いずれにおいても、最も身近な学びの場でした。入会以来、お世話になりましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。青年会の益々のご発展とご活躍を祈念致します。



京浜組 良忠寺
森本 有史

青年会活動を通して学ぶ事の出来た事はとても多く、実に有意義な時間でありました。編集委員長、副会長、監事と身にあまる職を仰せつかった事、またその経験が今後の僧侶人生の励みにもなる事と思います。青年会で出会えた、全ての先輩や後輩に感謝申し上げます。結びとして、浄土宗神奈川教区青年会のますますの発展を祈念して、卒業の挨拶と致します。



京浜組 大徳寺
加藤 佑心

2年弱という短い間でしたが、浄青で活動をさせて頂き有難うございました。主人の遷化により加入させて頂きましたが、何も分からぬ私に優しく声をかけて下さり、多くの方々に様々なことを教えて頂きました。また兄、主人の葬儀の際に沢山の浄青会員の方に弔問頂き大変有り難く存じます。温かく楽しい神淨青の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



港北組 専念寺
大谷 正信

早いもので浄青卒業と言う歳となりましたが、これまで浄青期間中は大変お世話になりました。浄青は卒業となります、今後ともどうぞ宜しくお願ひ致します。



港南組 法安寺
戸谷 瑞生

この度浄土宗青年会を卒業することになりました。私は平成15年に加行成満し、平成17年に浄土宗青年会に入会させていただきました。

青年会の皆様には、右も左もわからない私に温かくご指導していただき感謝の限りです。

また、活動に参加することができずご迷惑ばかりおかけして申し訳ありませんでした。

未熟者ですが志をもって精進していきたいと思います。これからもどうぞ宜しくお願ひいたします。

最後になりましたが、浄土宗青年会の発展と皆様のご活躍、ご健康をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



三浦組 新善光寺
清水 道善

頼りになる先輩達と使える後輩達に囲まれて無事浄青を終えることが出来ました。

あとは高見の見物です。がんばれ、現役！



鎌倉組 法幢寺
菊地 正起

昨年度をもちまして青年会を卒業する事となりました。青年会の益々のご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



中郡組 正安寺
酒井 仁成

この15年間、神淨青の活動を通して非常に多くを学ばせていただきました。毎年様々な事業・活動がある中、私の参加・出席率は決して良くありませんでしたが、鎌倉光明寺からの帰り道、ハンドルを握りながら「今日は参加できてよかったです」とよく反省したものです。ここに心より感謝申し上げます。誠に有難うございました。合掌

全浄出向者紹介



事務局次長
香川 陽祐

全国浄土宗青年会
活動テーマ

あんじん
〔 安 心 〕



幹事
大橋 雄人

関プロ出向者紹介



常任理事
小俣 慶樹

関東ブロック浄土宗青年会
活動テーマ
せんいじょうもん
〔 先意承問 〕
～謙虚に向き合う～



理事
三浦 康志

新入会員紹介



①吉川瑞之(よしかわざいし)
②平成3年4月
③平成24年12月
④港南組 三佛寺
⑤O型
⑥つけめん
⑦みづくん
⑧和太鼓・ダイビング
⑨堀北真希
28年度新入会員



①成田秀明(なりたしゅうめい)
②昭和53年5月
③平成11年12月
④港北組 正受院
⑤A型
⑥牛肉
⑦特になし
⑧特になし
⑨特になし
28年度新入会員

全浄青並びに関プロ浄青の諸活動にも積極的に参加をしてまいります。
皆様ご協力のほど宜しくお願ひ致します。

①氏名(僧名) ④所属寺院 ⑦ニックネーム
②生年月 ⑤血液型 ⑧趣味・特技
③加行成満 ⑥好きな食べ物 ⑨好きな芸能人

平成28年度 浄土宗神奈川教区青年会 事業計画

月	日	事 業 内 容	場 所
4月	11日(月・先勝)	第1回理事会	大本山光明寺
4月	12日(火・友引)	関プロ別時念佛会・関プロ最終理事会	大本山増上寺
4月	18日(月・友引)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	24日(火・先負)	神奈川教区吉水講詠唱大会	大本山光明寺
6月	7日(火・先勝)	第2回理事会・新旧役員歓送迎会	横浜ローズホテル
6月	14日(火・友引)	第1回定想会 【五重相伝を学ぶ①】	大本山光明寺
6月	20日(月・友引)	第43回関プロ浄青総会 並 研修会 担当 山梨教区	山梨県 甲府富士屋ホテル
7月	1日(金・先勝)	機関紙『淨青神奈川』第42号発行	浄土宗神奈川教区青年会
7月	1日(金・先勝)	第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
7月	25日(月)~27日(水)	関東教化センター第69回夏期僧堂手伝い、	大本山光明寺
8月	31日(水・大安)	全淨第12回全国大会 担当:宮城教区	宮城県
9月	1日(木・友引)	第2回定想会 【東北追悼法要】	東北地方
9月	7日(水・友引)	第4回理事会/各組担当別時念佛会	大本山光明寺
9月	13日(火・友引)	神奈川教区長杯スポーツ大会 担当:港南組	JA横浜みなみグラウンド
10月	6日(木・友引)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
10月	14日(金・仏滅)	十夜托鉢	大本山光明寺
11月	28日(月・友引)	関プロスポーツ交流大会 担当:神奈川教区	横浜
11月	30日(水・赤口)	全淨別時念佛会	總本山知恩院
12月	7日(水・先勝)	第6回理事会・忘年会	未定
1月	24日(火・友引)	第7回理事会・御忌別時念佛会	大本山光明寺
2月	未定	全淨第42回 総合研修会	未定
2月	22日(水・友引)	第3回定想会 【五重相伝を学ぶ②】	大本山光明寺
3月	10日(金・友引)	第8回理事会/各組担当別時念佛会	大本山光明寺
3月	下旬	「寺集～てらつど～」	大本山光明寺

光明寺裏山より西方を望む



神淨青ホームページ.
www.jodo-kks.com

神淨青

検索



Find us on
Facebook

フェイスブック 始めました

